

きすな



2023年度

4年ぶりの開催!!

三世代交流

栗野の夏まつり

- 日時 8月6日(日)午後5~8時
- 場所 岩野田北小学校(グランド&体育館)
- 主催 岩野田北まちづくり協議会



楽しかったヨ

●地域と子どもを育む!!

天候にも恵まれ、これまでにない人出でにぎわいました。三世代交流を通して、子どもたちを地域で育て、見守り、そして住民の絆を育む...
ともすると希薄化するコミュニティにおいて、「まつり」を、多目的・効率的なまちづくりの一つとして位置づけ、地域ぐるみで取り組んでいます。

夏まつりで企画してほしいこと(令和2年・4年生) 1位「お化け屋敷」 2位「舞台」 3位「射的」 4位「各種ゲーム」 他に「金魚すくい」「迷路」等

●三世代交流を深めたい

核家族化が進む中、各世代の孤立化を防ぎ、人間関係の幅を広げ、幸福感と生きがいと活力を高めることを目的に、世代間の交流を進めます。



●歴史文化を伝えたい

2023年度「栗野の夏まつり」ポスター

いぶらわい



岩野田北自治会連合会
岩野田北まちづくり協議会
会長 平木 猛

まちづくり協議会会長として、一年が過ぎようとしています。地域の皆様には、日頃より自治会の活動に何かとご協力を頂き、誠にありがとうございました。

「コロナが五類に移り、待ちこがれた「夏まつり」が催されました。子どもたちをはじめ地域の皆様を楽しまれる姿をたくさん見ることができました。

また、「あいさつ運動」に関連して、小学生によるポスター作品コンクール等。

他にも、命の大切さと防災を啓発する「はるかのひまわり」プロジェクトを立ち上げ、新たな試みにも挑戦することもできました。ただ種の収穫では、あまりの暑さのために十分にはできなかったため、再挑戦できればと願っています。

「二十歳のつどい」も久しぶりのマスクなしで、当時の担任の先生方にも参加して頂き、同級生のみなさんとの話も弾んだことと思います。

令和六年度に向かい、まちづくり協議会委員および自治会・各種団体、地域有志の方々と共に、限られた枠の中ですが精一杯頑張っていますので、岩野田北地区の皆様、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

令和5年1月7日(日) 岩野田北小学校体育館にて

『二十歳のつどい』

が開催されました。



民法の改正により、令和4年4月から成人年齢が18歳に引き下げられたことから、2回目となった「二十歳のつどい」。

「二十歳のつどい」は、連合会の重要な事業であるのみならず、岩野田の発展と将来を担う人たちを育てる場でもあります。

二十歳を迎えるまでは、ご両親はもとより地域の人たちからの愛情などを受けつつ、また、小中学校の生活を通して培った友情など、大人の社会に仲間入りする準備期間がありました。そうして一人ひとりが大きく成長し、希望に満ちあふれて式に参加したことが、集合写真から伝わってきます。



令和5年度 事業報告

10月15日(日) 岩野田北地区防災訓練を実施

令和5年度は、自治会長としても任期初年度ということもあり、

- (1)自治会長自らが組織的な動きを確認すること。
- (2)倉庫の資機材の活用と整理をかねて避難所の設営を行うこと
- (3)女性防火クラブと協力して、避難所運営を行うこと。

(岐阜市役所の都市防災部・市からの地域派遣職員のご指導ご支援のもと)としました。

(1)自主防災隊としての組織的な動き

地震発生



- ・第1次避難所(本部)の設置、到着報告
- ・参集状況の把握



- ・第2次避難所(岩野田北小)の設置

(2)第2次避難所の設営

A 倉庫の資機材確認と整理

B 体育館内に、避難住民の居住スペース

(簡易テント、ベッド、トイレ)の設置

(3)女性防火クラブによる炊き出し訓練

- ・倉庫内にわずかに残され、期限が迫っていた「おかゆ」「きのこご飯」「飲料水」を有効活用
- ・緊急災害時を想定し、あえてプロパンガスを使つての炊き出し

令和6年度の防災訓練は、地域住民のみなさんのご参加、関連団体のご協力をいただき、より現実に近い防災〔自らを守る(自助)、共に助け合う(共助)〕に重点を置いた訓練を予定しています。



岩野田北まちづくり協議会

日時：2023年8月6日(日) 午後5時～8時

場所：岩野田北小学校(グラウンド&体育館)

三世代交流
栗野の

夏まつり 開催!!

大好評!お化け屋敷!

◀中学生ボランティアの皆様お疲れさまでした



協議会の主要事業の一つ、地域の「絆の創生」に向けての三世代交流を図ると共に、地域の子供たちが楽しみにしている「夏まつり」が、今年度は四年ぶりにようやく、しかも盛大に開催することが出来ました。

会場を訪れた小さな子どもたちや、そのお母さん、そしてお年寄りまで皆のにこやかな笑顔や楽しそうな話し声を会場のあちこちで見聞きすることが出来ました。バザーや会場の準備そして見守り等、地域の皆様のご協力により開催することが出来、ありがとうございました。

ご協力をいただきありがとうございました。

【他の継続事業】

〇「青パト防犯活動」の実施
地域の安全・安心を目指し、自治会連合会のご協力を中心に地域内巡回パトロール。十数年間継続している事業です。



JA ぎふ岩野田支店



岐阜信用金庫 三田洞支店



十六銀行 三田洞支店



岐阜栗野郵便局

〇「あいさつ運動」の推進
皆さんの協力のもと策定した「岩野田北まちづくりビジョン」に基づき、一昨年度より「あいさつ運動」を推進。小中学校にもご協力をいただき、啓発ポスター、キャッチフレーズなどを募集しました。地域の公共機関・金融機関、店舗などに作品を展示するとともに、啓発チラシを作成・配布しました。地域の安全・安心にもつながり、「コロナ禍でも日常的に誰もが参加できるあいさつ運動の輪を、継続してみんなで広げましょう。」

令和5年度 事業報告

新規
事業

ひまわり美化活動

今年度より地域美化と防災啓発運動として、阪神・淡路大震災の後に芽生えたヒマワリを通じて、命・防災・絆の大切さを伝える「はるかのひまわりプロジェクト」に参加しています。



年間を通じて下記の各種事業を行いました。

- 「コミュニティバス」ぐるっとバス」の運営に参加
まちづくりアンケートで課題として寄せられた高齢者等の移動手段の確保のため、令和元年6月から岩野田地区と合同で試行運行を開始した「コミュニティバス」。利用者数も全体的に増加傾向にあり、令和四年度からは、念願の本格運行へ。
- 「まちづくりサロン」の開催
毎月第3日曜日午前10時から、まちづくりについて気軽に参加し、話し合うことのできるサロンを、岩野田北公民館で開催。
- 「ホームページ」岩野田北まちづくり協議会」の運営
広報活動の一環として、また、まちづくりの情報共有・継承を目的に、ホームページを開設。地域の情報を蓄積・発信しています。
- 令和五年度「まちづくり 協議会」パネル展
岐阜市内の校区五〇地区中四十四地区のまちづくり協議会が出席し、二月二十六日(月)より三月四日(月)の間、ぎふメディアアノスモス一階ドキドキテラスにて、令和五年度の活動状況をパネルで紹介しました。
- 鳥羽川美化活動
地域の中心を流れる鳥羽川。地域ビジョンの中でも自然あふれる環境を保ち享受したいとの思いが皆さんから寄せられています。以前から課題であった鳥羽川の環境美化を進めるように、昨年度からスタートしました。まずは、寺内橋から月見橋間の左岸堤防の美化に取り組みたいと思っています。



社会福祉協議会岩野田北支部 事業報告

岩野田北支部は、岩野田北自治会連合会や岩野田北民生児童委員協議会をはじめ、多くの地域団体をもとに評議員会、理事会を構成し、事業活動を決め、日常的には事務局委員会が事業の運営に当たっています。事務局委員は福祉委員を兼ねています。

【支部の事業】

●「ふれあい・いきいきサロン」

家庭に閉じこもりがちな高齢者等が、身近な場所で気軽に集まり活動することで、介護予防・フレイル予防に役立ち、地域づくりも期待できる、岐阜市社会福祉協議会の統一事業です。岩野田北支部は、①講師による「講座」②高齢者の集い「お茶のみ会」「わかかさ同好会」を行っています。

①講師による「講座」

岩野田北公民館と共催で、原則第3水曜日10:00～11:30岩野田北公民館で開催しています。

②高齢者の集い

「お茶のみ会(O)」は、岩野田北公民館で第2火曜日に、「わかかさ同好会(W)」は「東栗野公民館」で第4月曜日に、いずれも8月と3月は休みで、10:00～11:30に行っています。岐阜市社協、包括支援センター岩野田、食改岩野田北支部、そして今年度からSG会(地域の介護施設の理学療法士等の専門職の会)の支援も受け、支部福祉委員も加わって、体をほぐす簡単な体操、フレイル予防運動や食べ物のこと、脳トレクイズ、ゲームや歌唱、そして最後は誕生会・ハッピーバースデーを大声で歌っています。

集まり参加者数の平均は、「お茶のみ会」が30.2名、「わかかさ同好会」は22.8名です。

2023 参加者数		
	O	W
月	人数	人数
4	28	19
5	28	20
6	30	19
7	30	27
9	30	23
10	41	16
11	27	25
12	31	32
1	24	22
2	33	25
平均	30.2	22.8

●岩野田北小福祉教育のお手伝い

市社協の福祉教育担当者が、岩野田北小学校5年生に福祉授業を行っています。

①高齢者体験(10月26日)は体育館で行われ、生徒の保護者とともに、福祉委員がお手伝いに参加しました。

②高齢者との交流会(12月13日)は、5年1組の生徒は音楽室に、「わかかさ同好会」の皆さんは東栗野公民館に集まり、昨年同様オンラインで行われました。

●「岩野田北地域のちょこっとお助け隊」活動の支援

今年度は、5年生7名、6年生2名、中学生2名が隊員です。

①第1回目の会議は、8月25日に、松田支部長、保護者、福祉委員、市社協など23名が参加しました。

②10月10日の「お茶のみ会」に参加し、「昔の遊び」を体験しました。

③1月に通信1号を発行しました。

●「On!ぱくキッチン」のお手伝い

毎月第3土曜日に、「You&Iの森 いわのだ」で行われる子ども食堂に、3名の福祉委員が、食事づくりや子供たちとの遊びなどに参加しました。

月	講座名	人数
5	初心者の折り紙教室	18
6	フレイル予防講座※	68
6	救命法 (AEDと救命初期対応)	25
7	遠藤伸子シャンソンコンサート	43
7	初心者の折り紙教室 パート2	22
8	悪質商法被害防止教室	17
9	群読って何?	25
10	栗野の歴史	23
11	歌って笑って健康づくり	16
12	園芸教室	26
1	高齢者の健康教室	24
2	骨粗しょう症予防教室	67
3	音楽広場&つたえ話♪	37

※講座の前にオカリナカンタービレによるオカリナ演奏



新聞紙で長いテーブルづくり(お茶のみ会)



わかかさ同好会の様子



第1回会議の様子

各種団体だより

令和5年度交通安全対策

岐阜北地区交通安全協会岩野田北支部 支部長 鈴木 康弘

皆様には交通安全活動に理解とご協力をいただき感謝申し上げます。

交通安全協会には年間のスローガンがあります。今年度は、運転者に対して「**運転は ゆとりと マナーの二刀流**」、自転車は「**自転車に 乗るなら必ず ヘルメット**」、子どもに交通安全を呼びかけるものとして「**ペダルこぐ ぼくのあいぼう ヘルメット**」があります。

これらは大事な命に関わることです。交通マナーを守ること、ヘルメットを被っていれば怪我で済んでいたこと、しっかり対策を怠らなければ事故を未然に防ぐことができるといったことも多くあります。自転車に乗る場合はヘルメット着用が義務付けられていますので、くれぐれも法規厳守をお願いします。

今年度の岐阜北警察署管内の交通死亡事故は0件、前年度5件、岩野田北地区は0件、前年度2件となっています。引き続き、安全運転を心掛けていただくようお願いいたします。

また、活動内容などは岩野田北まちづくり協議会のホームページでも見れますのでご覧ください。

令和5年度の活動報告

岩野田北母子福祉会 会長 水谷 美由紀

母子福祉会は、母子家庭のお母さんを会員としお互いに助け合いながら和気あいあいと活動しています。年に4回を目標に様々なイベントを開催し、母子ともに充実した生活を送れるよう計画しています。今年度は春の総会后ミニトマトの苗を植え付け、夏にはたくさんのトマトを収穫し、家庭での食育の一端となりました。年末にはしめ縄づくりを行いました。しめ縄づくりは母子会で10年ほど続けており、藁から縄を編んでしめ縄を作り、それぞれのセンスで飾りをつけて完成させ、世界で一つのお正月飾りを作っています。公民館で作るため、偶然居合わせた利用者の皆さんにお褒めいただけるほど、立派な作品となりました。年度末にはいちご狩りを計画しており、今からとても楽しみです。

今後も会員の皆さんが楽しんで参加できるイベントを企画し、助け合いながら活動の輪を広げていきたいと思っております。会に参加を希望する母子家庭のお母さん、いつでも歓迎しますのでお気軽にご連絡ください。



お母さんが一人で悩まない地域づくり

岩野田北青少年育成市民会議 家庭部会 会長 須田 真里

令和5年度家庭部会では7回の親子ふれあい教室を開催いたしました。申し込みはQRコードを使い、若いお母さんにも受け入れやすい方法で行いました。開催日などの連絡もSNS(オープンチャット)を使い発信し、持ち物の質問、急な欠席の連絡にも即対応ができました。今年は公民館だけの活動ではなく、地域の幼稚園、保育園、畜産センターさんのご協力のもと、いろいろな場所で開催することができました。

秋には紅葉がとてもキレイな畜産センターで『青空ヨガ』を開催しました。畜産センターさんのご厚意で芝生広場を貸して頂き、安全な場所でお母さんと赤ちゃんと一緒にヨガを楽しんでいる姿にとってもほっこりしました。

赤ちゃんの五感を刺激するとも言われている流行りの赤ちゃん玩具『センサーボトル』を作る回では、お母さんたちが楽しそうに作っていました。完成したセンサーボトルを赤ちゃんたちは握ったり投げたり遊んでいました。

赤ちゃんが楽しんでもらうのももちろんですが、私は日々子育てを頑張っているお母さんにも楽しんでほしいと思い、アルバム作りの講師の先生に来ていただき、『アルバム作り』を開催しました。育成会本部役員の方、家庭部会員の方、地域の方に託児をお願いし、お母さんにはリラックスをしながら少し赤ちゃんとはなれて、アルバム作りをしてもらうことができました。最後にはどんな思いでこのアルバムを作ったのかを発表しあい、とてもなごやかなムードで終わることができました。



私も子育てを経験し思うことは地元のママ友たちはとてもありがたい存在であること、子ども同士が同級生であるというだけでとても心強いこと、共働が多い中、地域の役割はとても重要だと考えます。お母さんが一人で悩む事のない開けた地域づくりをこれからも考えていきたいと思っております。

岩野田水防団の活動について

岩野田水防団 団長 宇留野 秀幸

5月28日に開催された令和5年度岐阜市水防連合演習に参加しました。また、6月18日に行われた岐阜市北部13団合同水防訓練の当番団で運営にあたり、岩野田北、岩野田校区の自治会連合会長、女性防火クラブ、北消防団岩野田分団の多くの皆さまにも早朝から出席していただき、無事に成功で終わることが出来ました。

さて、河川の増水は昔から台風が主な原因でしたが、最近では線状降水帯やゲリラ豪雨により突発的に発生しています。水防団員は、河川が水位を超えると詰め所での待機や河川巡視や警戒を行っています。今年度は3回ほど出勤しました。

今年1月に起きた能登半島地震のような震度6以上の地震が起きた場合は、水防団員は大規模災害団員を兼務しており、市民の皆様の安否確認や避難誘導など多岐にわたり従事します。

水防団では、地域の安心安全のためご協力していただける方の入団を大募集しています。



令和5年度の活動報告について

体育振興会 会長 加藤 栄司

令和4年度はコロナ禍の影響でスポーツ広場が中止となり、2回のグランドゴルフのみの開催となりましたが、令和5年度は前年までの新型コロナウイルス禍による不安定な状況を脱した為、関係者の皆様の御協力のもと予定通りの活動を行う事が出来ました。残念ながら、6月のグランドゴルフは雨天で中止となってしまいましたが、10月のスポーツ広場及び11月の三世代グランドゴルフは両大会共に大勢の方々に参加していただきまして、関係者、参加者の皆様には改めてお礼申し上げます。

「地域のふれあい」を目的としての開催という事ですが、老若男女問わず表彰式での参加者の皆様の清々しい顔を見ますと、我々運営に不備はあったかと思いますが、色々準備した甲斐があったなあと思います。

次年度も今年と同様グランドゴルフを中心とした活動を予定しております。小学校3年生以下の参加者の方は保護者の方にも同伴で参加していただく等、多少の制約はありますが多数の方のご参加お待ちしております。最後に体育振興委員、役員、老人会の皆様、本年も昨年度と変わらぬ御協力の程宜しくお願い申し上げます。

令和5年度の活動報告

民生委員児童委員協議会 会長 宇留野 政司



令和5年もコロナ禍で始まりましたが、5月には季節性インフルエンザと同じ「5類」に移行され、収束に向かっていると感じられる中、民生委員活動もコロナ前の様に、見守り高齢者の皆様への訪問も対面会話が多くなり、また、行事も活発に出来るようになりました。

10月には見守り高齢者の皆さんを招いてのクリスマス・リース作りを開催しました。18名の方が作品作りに参加され、岩野田北小学校の体育館にて、生徒さんと一緒に花もち作りを楽しむことができ、

正月の飾りが一つ増えた事を大変喜んでみえました。

また、絵手紙年賀状を小学校5年生の生徒さんから頂くこともできて感謝されました。

岩野田児童センターでは、主任児童委員の地域活動(子育て支援)の「たからばこ」も9回開催され、10月にはハロウィンを前に、みんなでカボチャのお化けに変身して遊び、いろいろなお化けを背景にした写真を撮って楽しむこともできました。



女性防火クラブの活動について

岩野田北女性防火クラブ 会長 安江 久美子

令和5年度はようやく活動の機会も少しずつ増え、感染対策をとりながらも行動することができました。今年度の活動としては、6月に北部13団合同衰亡訓練に参加、見学させていただきました。水防団の方々の日頃の訓練の成果が充分発揮されていました。

10月には自主防災訓練が行なわれ、組織的な動きの確認と共に市防災部地域派遣職の方の指導の元、女性防火クラブも食料の炊き出し、配布等の手順を確認しました。

1月の出初式は能登半島地震の為に中止になりましたが、改めて日頃からできる限り、災害等における火災予防に努めなければと気を引き締める年の始めとなりました。

6年度も消防団の方々、地域の方々、役員の方々と共に力を合わせて女性防火クラブの活動を行なって行きたいと思っております。

笑顔で楽しい活動を

岐阜市赤十字奉仕団岩野田北分団 分団長 小田切 郷子

赤十字奉仕団員の信条の一つに「常にくふうして人びとのために、よりよい奉仕ができるように努める」というのがあります。私たちはそれをもとに今年度も笑顔で楽しく活動しました。

6月に公民館講座として「一次救命処置のおはなし」と題して、心肺蘇生法・AEDの取り扱い方の講習会を開催しました。今回は、特に緊急時にどのような判断が必要かに重点を置き、赤十字指導員のもと学習しました。知らないより知っていれば安心、何よりもあわてないで、おちついて助けを求める事が大切です。



7月には分団員講習会として「ハンドケアとリラクゼーション」を学習しました。これは温かい手の温もりが伝わり、肩と背中にやさしく触れるスキンシップで、コミュニケーションのよい機会となり、こころ通う支援技術です。これから身近にできるこの技術をいろいろな場所で活用していきたいです。

8月の地域の夏祭りでは、救護所待機の他に今回体験コーナーを設けました。心肺蘇生キット、スクーマンで大人だけでなく子供たちにも心臓マッサージを体験してもらいました。小さな子供たちも真剣に取り組んでくれました。

11月の公民館の文化祭では今年度もチャリティバザーを行いました。いろいろくふうした手作り小物等を販売し、収益金は全て災害義援金募金にさせていただきました。皆様の温かいご協力ありがとうございました。その他、岩野田北公民館の全館清掃やマーサ21での献血の呼びかけ活動などを行いました。

これからも分団員一同、笑顔で楽しく活動して、少しでも地域を盛り上げていきたいです。



友達づくり・健康づくり

岩野田北老人クラブ

当老人クラブは概ね60才以上の高齢者が会員の福祉向上を主な目的として毎年、懇親会・グランドゴルフ、季節ごとのバス旅行(日帰り・泊)、地域の子ども見守り活動等を元気にを行い、地域の一員として友達づくり・健康づくりを楽しんでいます。

しかし近年、生活環境・勤務環境の多様化等もあってか60代、70代前半から入会する(できる)人が少なく、老人クラブの高齢化と会員減少が進んでおり、これからも継続的な活動をする為には会員の増強が喫緊の課題となっています。

子どもの明るく元気な笑い声・遊ぶ姿と同じく高齢者の明るい話し声、元気に運動する姿が地域の盛り上げ・活性化ひいては私達個々人の生活に不可欠です。

これからは「人生100年時代」、一人で過ごす時間も必要ですが地元の仲間と運営されているクラブに入り、みんなで盛り上げてこれからの日々を大いに楽しもうではありませんか!

当クラブは皆様の入会を心よりお待ちしております。



岩野田・岩野田北コミュニティバス等運営協議会 事業報告

『ぐるっとバス』の運行が5年目に入りました

岐阜市のコミバス運行は、2006年に三輪っこバスなど4地区で始まりました。岩野田北自治連は2017年にコミバス運行の検討に入り、2018年には岩野田自治会連合会も検討に加わり、7月に岩野田・岩野田北地区コミュニティバス等運営協議会準備会が発足しました。以降、運行ルート・バス停の検討、コミバス通信の発行、愛称の公募・決定と進み、令和元年(2019年)9月に試行運行が開始しました。そして、令和4年に本格運行に移行し、本年度9月で運行5年目に入りました。令和7年4月からの運行(継続運行の判断は3年ごとに行われます)については、令和5年12月から令和6年11月までの運営状況(運賃と車両広告による地区の収入目標の達成状況)を踏まえ、継続の判断がなされます。令和5年度の運行経費は1,225万円、地区収入は275万円(乗車利用料金125万円、車両広告料金150万円)が見込まれ、これは地区収支目標を達成しています。この状況が維持されるならば令和7年からも運行は継続されると予測しています。2023年12月から地区の収支目標が運行経費の15%から13%に、赤字補填額が1,050万円から1,260万円に緩和されました。これを受け、休日運行、日曜日運行について検討しています。

●令和5年度 広告協賛事業者(順不同、敬称略)

地区収入の60%弱が広告によるものです。藤垣クリニックは令和4年12月をもって廃院となり広告が切れましたが、令和5年度から勝栄工業に加わっていただきました。岩野田北地区7業者、岩野田地区7業者は、令和2年度以降毎年協賛をいただいています。

岩野田北ルート地区(8業者)

かとう整形外科クリニック	カワサキ保険	岐北厚生病院	中島建築
勝栄工業	原尾不動産	萩建設	増田医院

岩野田ルート地区(7業者8件)

岩砂病院・岩砂マタニティ	今井整形外科	神谷新聞店	米金商店
ふじさわクリニック	平成調剤薬局	三田洞歯科医院	

●利用状況

令和5年度(4月から令和6年1月まで)は、月平均1,202人、運行日平均は49人です。令和5年12月の利用者は過去最高の1,337でした。因みに、令和2年度は908人、令和3年度は1019人、令和4年度は月平均1,083人でした。また、試行運行開始から令和6年1月までの累計利用者数は53,478人です。

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	計	平均
月利用者数	1,084	1,219	1,273	1,172	1,153	1,242	1,316	1,196	1,337	1,029	12,021	1,202
日平均	45.2	50.8	49.0	46.9	46.1	51.8	52.6	49.8	51.4	44.7	442.2	49.1
運行日数	24	24	26	25	25	24	25	24	26	23	246	24.6

●バス停利用状況

今年度も6日間の各バス停乗降調査が令和5年5月15日～20日と令和5年11月27日～12月2日に行われました。岩野田北ルート(ハロー栗野店を除く)のトップ5は表の通りで、5バス停は一定しています。また、2回の調査で利用のなかったのは3バス停でした。

5/15～5/20		
順位	バス停	乗降者数
15	八幡洞入口	10
16	岩野田児童センター東	9
18	八幡洞団地	8
19	栗野台	8
20	岐北厚生病院	8

11/27～12/2		
順位	バス停	乗降者数
8	岐北厚生病院	20
9	八幡洞団地	19
17	栗野台	10
18	八幡洞入口	9
22	岩野田児童センター東	5

●コミバス通信12号(令和5年9月1日)、13号(令和6年3月1日)を発行しました。

●令和5年4月から岩崎山手地区に「サポート便」が導入されました。

岩野田北小だより

コロナ禍を経て…

岩野田北小学校 校長 鬼頭 利成

昨年5月に新型コロナウイルス感染症が5類に移行されました。約3年間、私たちはこれまでになかったウイルスに困惑を極め、不安と不自由さの中で生活してきました。学校生活も徐々にコロナ禍以前に戻ってきました。しかし、3年という月日は様々なことで学校生活だけでなく、私たちの生活様式を変化させました。教職員の働き方改革も進み、学校の行事や活動も決められた時間の中で、本当に必要なものに精査して、無理のないように、子どもたちにも負担をかけないようにして行うようになりました。ICT機器の活用もめまぐるしく進み、授業の進め方や宿題のあり方、ペーパーレス化も進みました。長きにわたって、「こういうものだ。」という固定観念でやってきたことが急転換する3年でもありました。

しかし、新型コロナウイルス感染症が5類に移行されたとはいえ、感染状況がそれほど変わったわけではありません。いまだに世の中から無くなったわけではないからです。逆にこれまで影を潜めていたインフルエンザやノロウイルス、溶連菌などが感染拡大するようになっています。コロナ禍前には、ほとんどマスクを着用している人を見かけませんでしたが、今では多くの人々が時と場合を考えて個人の判断で使用しています。それに対して、何の違和感もなくなりました。

また、新たな課題も浮上してきました。地球温暖化に伴う熱中症への対策です。暑さ指数が一定の数値に達すると、屋外での活動が原則できなくなります。最近では昼休みや体育の授業を運動場で行うことができない日がありました。特に午後からその割合が多く、水泳の授業でさえ行えないことが何回かありました。今後ますます温暖化が進むと、子どもたちの命にかかわることだけに熱中症対策に関する制限が増えることを危惧しています。特に取組期間を長く要する行事については、当日はもちろん、練習や準備の時期や期間も考慮する必要があります。そこで、元に戻さなくてはならないこと、戻すのではなく変えていかななくてはならないこと、取組内容の変更をしなければいけないことをしっかりと見極め、今後の学校運営を慎重に行っていきたいと考えています。

コロナの制限が緩和されて、子どもたちができる有意義な体験や活動が広がりました。まちづくり協議会による夏祭りも再開し、多くの子どもたちが楽しませていただきました。学校が大切にしているあいさつ運動にも協力していただき、子どもたちの絵やキャッチフレーズが入った旗や横断幕を作っていただきました。大きな声で元気に挨拶できる子が増えました。

公民館が主催してくださった人権学習では、助産師さんをお招きして、5年生の子どもたちが生まれるまでにどのような困難や神秘的なできごとがあるのかを解説していただき、自分たちが生まれてきたことに感謝し、命の尊さや仲間と協力することの大切さを学ぶことができました。福祉体験も充実しており、体験を通して高齢者や障がい者に対する理解も深めました。



その他にもサツマイモづくりをはじめ、如来ヶ岳登山、カワゲラウオッチング、交通安全教室、なかよしハイクなど、多くの校外学習で地域の見守り隊や交通安全協会、岐阜北警察署の皆さんなどにご協力をいただきました。

また、書写だけでなく、読み聞かせも再開し、ボランティアの皆さんにご協力をいただいております。今後も活動内容などを精査しながら、より有意義な体験や活動を考えていきたいと考えております。

今後ともご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



公民館便り

岩野田北公民館 館長 小枝 松雄

今冬は過去に例を見ないほどの寒暖差の激しい冬でした。公民館長をお引き受けしてはや5年が過ぎようとしています。

令和5年度は、振り回されたコロナもようやく五類感染症に移行し自由に公民館活動ができるようになりました。コロナ禍の間も、感染者が出ることもなく無事に過ぎましたことは偏に利用者の方々のご協力のおかげであります。公民館の二大行事となる文化祭、クラブ・サークル発表会も開催することができました。文化祭では消防団、水防団の方々にご尽力いただき、ありがとうございました。健康講座、コンサートを主とした公民館講座も予定通りに開催できました。

しかしながらコロナ禍の後遺症は大きく、参加者、出席者数はやはりコロナ以前の状態には回復していません。残念ではありますが、クラブの廃部も多くなり3年間という長いブランクの影響を思い知らされているところですが、しかし新しく立ち上がってくるクラブもあり今後に希望を抱ける様子も見られます。

社会の変遷の中、公民館利用者の固定化や高齢化、子供や若者の公民館離れを痛切に感じます。5年度は、イベント等を小中学生、若者が来館しやすいように願いをこめて土日曜・祝日または夏休み期間中に多く開催するようにしましたが、小中学生、若者たちは忙しいようで参加者の増加には至りませんでした。

公民館が設立されたころは、利用者は昔の青年団をはじめとして若者が多かったと聞いています。その利用者たちは高齢化し、徐々に若者が近づきにくい利用しにくい居心地の良くない施設になっているようです。公民館と地域住民とのあり方として今後の課題と思われれます。

固定化については、「粟野の歴史」を初めて公民館講座で取り上げました。岐阜市歴史博物館の元館長でした数下先生に講演をお願いしましたが、いつも公民館に来られない方々がおいでになっており、やはり地元のことを知りたいという関心、興味が多くの人におありだと思われ、これからの講座の計画にあたり参考にしたいところです。

月日は早いもので前 橋本館長から引き継いで5年がたち、年齢的、体力的にもきつくなり今年度をもちまして退職させていただき、新館長さんに次の役目を託すことになりました。運営審議会、運営委員会の皆様、自治会、社会福祉協議会、まちづくり協議会、クラブ・サークル、学校関係者、ボランティアの多くの皆様に支えて頂き、ご指導いただいたことに深く感謝しております。本当にありがとうございました。

これからも少しでも多くの方々が公民館へお出かけ下さることを願ってやみません。



小学生の「ラジオを作ろう」講座。完成して音が聞こえてくると歓声が上がりました。(令和5年7月31日)



落語・漫談を聞いて面白おかしく防犯知識習得。(令和5年8月30日)



管楽器の中で一番大きな楽器チューバの醸し出す低音の魅力が味わえたクリスマスコンサート。(令和5年12月16日)



多くの人に関心のある骨密度測定をし、骨が強くなる体操を習った骨粗しょう症予防講座。(令和6年2月20日)